



読み進めるにつれ 「カルテ記載力」が向上する

評者 | 喜舎場朝雄 沖縄県立中部病院 呼吸器内科部長



伝わるカルテ Before & After で 書き方のコツがわかる

牧野英記＝著

定価：3,300 円(本体 3,000 円+税 10%)
B5・148 頁／じほう／2023
[ISBN978-4-8407-5513-9]

カルテ記載は、患者情報の把握と治療および退院計画につながる、すべての医師にとって日常診療の軸になる業務である。本書では、カルテ記載の「いろは」に始まり、正しい日本語を用いること、略語は常にフルタームを記述して覚えて初めて物になること、コピー＆ペーストに依存しないことなどを強調している。

SOAP の正しい記載を、実際の具体例を数多くあげながら平易な言葉で解説し、初学者に大変理解しやすい内容になっている。経過記録の項では、鑑別診断に優先順位をつけて複数あげることの意義、自分で考えることや指導医に相談することのそれぞれの重要性にも触れており、研修する立場の医師の心だけに直結する内容が盛り込まれている。

また、ショートサマリー作成の勧めも書かれている。ショートサマリーは、自分の頭の中の整理になり、カンファレンスでの発表の際にも応用できる。

さらにインフォームド・コンセントの記録では、状況別の具体例が注釈も交えて列挙されており、読者が大変イメージしやすい構成になっている。看護師との情報共有・信頼関係構築のステップも記載されており、日常の病棟や外来ですぐに実践可能なエッセンスが盛り込まれている。

後半は、初診記録における項目別の記載ポイントや、プロブレムリストの記載では鑑別診断を常に意識して書くことの大切さなどにも触れられており、本書を読み進めることでカルテ記載力が向上する流れになっている。

加えて、本書に収められている 14 のコラムでは、普段あまり見慣れない書類や重要な評価尺度などを簡潔に解説し、読者が苦手意識を克服できることが想像できる。

本書は、頁の手触りからも温もりを感じ、著者と編集者の全国の研修医への愛情を味わうことが可能になっている。『伝わるカルテ』を通して、指導医の私もカルテ指導の再確認ができた。研修医が将来有望な医師として成長するのに、本書が確実に寄与することを約束する。

G